

山口県 美祢市・萩市を調査

平成28年8月9日～10日

定数等調査特別委員会調査報告

議員定数はどうあるべきか

議員定数等調査特別委員会は、8月9日と10日に山口県美祢市と萩市を調査した。

美祢市は、平成20年3月に3町が対等合併し、発足した市で、人口約2万6千人と人口こそ少ないが、面積は八女市と同じくらい有する。

平成20年8月に議長が「議員の定数並びに報酬に関する件について」を議会運営委員会に諮問し、平成24年4月の選挙から定数を19人とした。

平成26年7月、「議会改革推進特別委員会」が設置され、平成27年3月議会で定数16人を可決し、平成28年4月の選挙から実施。

この間、山口県全市と類似自治体の財政規模・面積・産業形態・議員定数などを参考に比較検討され、議会報告会で、参加された住民に意見を求め参考に

し、議論・検討され定数が決められている。

翌日には萩市を訪れた。萩市は、平成17年3月に1市2町4村が合併し、在任特例で94人の議会で発足。翌年4月の選挙で30人に削減。平成22年選挙では26人に削減。平成26年6月に議会改革を実施するため「議会構成分科会と議会運営分科会」の2つからなる議会の構成・運営に関する研究会」を設置し協議が重ねられ、平成27年9月に定数20人に決定された。

萩市は人口約5万1千人、面積は約700km²と八女市と比較しても広大な広さと離島も有する市である。

萩市の議会だよりに「工

イヤツと決めなければ決まりませんよ」と書かれていたが、議会基本条例がない萩市は、正にそんな感じのする決め方で、研修終了

後、今後の議会運営を心配する職員の言葉も聞かれた。

八女市の議員定数については、昨年の6月から12回の委員会を開催している。

今後もしっかりと議論を重ね、来年3月までに市民に説明責任を果たせる形で答えを出さなければと強く感じさせられる調査であった。



研修の様子

適切に支出しています！

政務活動費

八女市議会には議員に政務活動費を支給する制度があります。一人月額1万円。議員26人分で312万円が予算化されています。



八女市議会の政務活動費は、研修会や先進地の調査など、議員活動に活用しています。ただし、政務活動費を支出する前に議会事務局で内容を確認し、その領収証の提出後に支払われます。八女市議会は今後も、適切な使途に努めてまいります。